

平成 29 年度 施策評価調査

基本事項	施策名	デリバリーミュージアム（島内文化財活用展示公開）事業	整理番号	95026
	根拠法令等	文化財保護法	実施義務	なし
	総合計画区分	（４）心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～		
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用		
総合戦略区分	①文化遺産の保護と活用			
	【 2 】 壱岐の魅力を発信し、人が集まるまちづくり			
	①観光振興プロジェクト			
（３）福岡中心の国内プロモーション活動・情報発信の強化				
事業の対象・目的・内容	事業の背景（課題・市民の要望等）	【事業の背景】 壱岐島内には、壱岐市民の財産であると同時に、国民共有の財産でもある国特別史跡原の辻遺跡をはじめ、古墳や勝本城跡などの国史跡、国重要文化財に指定された出土品など数多くあるが、これらの文化財がもつ歴史的価値やその魅力を十分に周知することができていないのが現状である。		
	対象（誰に、何に対して）	【対象】 壱岐市民及び他地域国民		
	目標達成のための具体的手段・方法	【目標達成の手段】 ■ 壱岐市観光商工課や社団法人壱岐市観光連盟と連携し、全国各地で行われる壱岐物産展に同行し、壱岐島を紹介するブースを設置し、PRを行う ■ 連携博物館・資料館と連携し、企画展「海の王都・原の辻と壱岐の至宝展」を開催し、広く壱岐のもつ文化財の魅力を情報発信する ■ 出前イベントを通じて、他地域のボランティアや市民と交流することで、お互いのスキルアップを目指す ■ 出前講座を開催し、壱岐の歴史や魅力を広く周知する		
目的（どのような状態にしたいのか）	【目的】 それらの貴重な文化財資料を有効に活用し、他地域で壱岐島の文化財資料を展示公開することで、壱岐の魅力を国内外に広く情報発信すると同時に、交流人口の拡大を目指す。			

課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	松見裕二					
関連個別事業名										
事業費等の推移	予算科目	09 款	05 項	06 目	大	中	小	細		
		事業番号		01190	島内文化財資料活用展示公開事業					
	年度	平成28年度 (予算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)				
	直接事業費	25,278								
	財源内訳	国庫支出金	12,500							
		県支出金								
		地方債								
		その他特財								
	一般財源	12,778	0	0	0	0				
	人件費	1,531	0	0	0	0				
職員	人	0								
	千円	1,531	0	0	0	0	0			
嘱託	人									
	千円	0	0	0	0	0	0			
事業費合計	26,809	0	0	0	0					
事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】 (目標達成度を図るための指標)	名称・内容等		単位	28	29	30	31	32	
		島外壱岐PR活動 直接交流者数		目標	人	500				
				実績	人	950				
				達成率	%	190.0				
		企画展 入館者数		目標	人	5,000				
				実績	人	88,169				
	達成率			%	1,763.4					
	出前体験・出前イベント 対応者数		目標	人	500					
			実績	人	732					
			達成率	%	146.4					

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）					
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	A	●A 継続実施（見直しは行わない） ○B1 事業規模の拡充 ○B2 事業規模の縮小 ○B3 事業内容の改善・見直し ○B4 その他の見直し ○C 休止（隔年実施などへの変更） ○D 廃止（終期の設定等を含む）				
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 事業実施にあたり、国重要文化財の移動展示など、指定品を所蔵管理する行政しか行うことができない内容が含まれる	A						
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 壱岐島への来島者増・博物館の来館者増につなげるため、島外でのアウトリーチは必要不可欠である	A						
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 離島活性化交付金を活用し、施策実現のための事業内容となっている	A	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針				
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 出前体験や出前講座等は参加定員制限があるが、参加者には偏りないサービスを提供している	A						
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 企画展の開催、出前講座、出前体験イベントなどを開催し、目的を達成している	A						
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった NPO団体や民間企業とも連携し、官民協働で事業を計画的に実施することができた	A	A	総合判定				
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 事業の一部を専門機関に協力依頼することで効率よくかつ効果的に事業目的を実施したため、コストに見合った成果が得られている	A	A	【外部評価】 総合判定				
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 補助金メニューを活用しながら、最大限のコスト削減の意識をもって事業を実施している	A						
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 関連機関や関連団体などとの連携を図り実施している	A						
		判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算	3.00	【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】					
				① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減				
				③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）				
				現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円

判断理由
観光分野と連携した文化財資料を活用した取組みは、先進事例でもあり、全国各地から注目されている。実際に、他地域からの来島ツアー造成も実現するなど、実施効果も目に見える形で表れてきている。

・総合評価で「見直し・改善を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事業の改善見直しを行うことにより予想される効果も併せて記入願います。
・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載願います。

【2次評価】

総合判定

意見等

【外部評価】

総合判定

意見等

【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】

① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減				
③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）				
現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円

平成 28 年度 施策評価調書

<table border="1"> <tr> <td>施策名</td> <td>壱岐市景観資産助成事業</td> <td>整理番号</td> <td>95002</td> </tr> <tr> <td>根拠法令等</td> <td>長崎県美しいまちづくり推進条例</td> <td>実施義務</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">総合計画区分</td> <td colspan="3">(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～</td> </tr> <tr> <td colspan="3">< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用</td> </tr> <tr> <td colspan="3">①文化遺産の保護と活用</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">総合戦略区分</td> <td colspan="3">【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり</td> </tr> <tr> <td colspan="3">②教育のしまプロジェクト</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 郷土愛の育成</td> </tr> </table>				施策名	壱岐市景観資産助成事業	整理番号	95002	根拠法令等	長崎県美しいまちづくり推進条例	実施義務	あり	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～			< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用			①文化遺産の保護と活用			総合戦略区分	【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり			②教育のしまプロジェクト			(2) 郷土愛の育成			<table border="1"> <tr> <td>課名：</td> <td>文化財課</td> <td>班名：</td> <td>文化財班</td> <td>担当者名：</td> <td>田中聡一</td> </tr> </table>	課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	田中聡一																																																																																																																																																																																																																																																
施策名	壱岐市景観資産助成事業	整理番号	95002																																																																																																																																																																																																																																																																																			
根拠法令等	長崎県美しいまちづくり推進条例	実施義務	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																			
総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	①文化遺産の保護と活用																																																																																																																																																																																																																																																																																					
総合戦略区分	【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	②教育のしまプロジェクト																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	(2) 郷土愛の育成																																																																																																																																																																																																																																																																																					
課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	田中聡一																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業の背景 (課題・市民の要望等)</td> <td colspan="13">長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」所有者からの要望による。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">対象 (誰に、何に 対して)</td> <td colspan="13">長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標達成 のための 具体的 手段・方法</td> <td colspan="13">長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」について、下地の劣化によってズレや雨漏りが発生している屋根瓦について、更なる被害拡大を防ぐために屋根瓦の葺き替えを行う。 総事業費は1,654千円で、長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金を活用した。事業費は県・市・事業者（所有者）がそれぞれ1/3ずつ負担することとなっており、市が県費補助申請を行い、県および市費を合わせた事業費の2/3（1,102千円）を事業者（所有者）に市補助金として助成することによって事業を実施した。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目的 (どのような 状態にしたい のか)</td> <td colspan="13">屋根の改修を行い雨漏りなどによって躯体が腐食することを未然に防ぐ。</td> </tr> </table>				事業の背景 (課題・市民の要望等)	長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」所有者からの要望による。													対象 (誰に、何に 対して)	長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」													目標達成 のための 具体的 手段・方法	長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」について、下地の劣化によってズレや雨漏りが発生している屋根瓦について、更なる被害拡大を防ぐために屋根瓦の葺き替えを行う。 総事業費は1,654千円で、長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金を活用した。事業費は県・市・事業者（所有者）がそれぞれ1/3ずつ負担することとなっており、市が県費補助申請を行い、県および市費を合わせた事業費の2/3（1,102千円）を事業者（所有者）に市補助金として助成することによって事業を実施した。													目的 (どのような 状態にしたい のか)	屋根の改修を行い雨漏りなどによって躯体が腐食することを未然に防ぐ。													<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">事業費等の 推移</td> <td>予算科目</td> <td>09</td> <td>款</td> <td>05</td> <td>項</td> <td>06</td> <td>目</td> <td>02</td> <td>大</td> <td>01</td> <td>中</td> <td>01</td> <td>小</td> <td>00</td> <td>細</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">事業番号</td> <td colspan="12">01189</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td colspan="2">平成28年度 (決算)</td> <td colspan="2">平成29年度 (予算)</td> <td colspan="2">平成30年度 (予算)</td> <td colspan="2">平成31年度 (予算)</td> <td colspan="2">平成32年度 (予算)</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>直接事業費</td> <td colspan="2">1,102,000</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td colspan="2">551,000</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td colspan="2">551,000</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td colspan="2">368</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">職員</td> <td>人</td> <td colspan="2">0.06</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>千円</td> <td colspan="2">368</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">嘱託</td> <td>人</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>千円</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td colspan="2">1,102,368</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> <td colspan="2">0</td> </tr> </table>	事業費等の 推移	予算科目	09	款	05	項	06	目	02	大	01	中	01	小	00	細		事業番号		01189												年度	平成28年度 (決算)		平成29年度 (予算)		平成30年度 (予算)		平成31年度 (予算)		平成32年度 (予算)						直接事業費	1,102,000												国庫支出金													県支出金	551,000												地方債													その他特財													一般財源	551,000		0		0		0		0		0		0		人件費	368		0		0		0		0		0		0		職員	人	0.06														千円	368		0		0		0		0		0		0		嘱託	人															千円	0		0		0		0		0		0		0		事業費合計	1,102,368		0		0		0		0		0		0	
事業の背景 (課題・市民の要望等)	長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」所有者からの要望による。																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	対象 (誰に、何に 対して)	長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」																																																																																																																																																																																																																																																																																				
目標達成 のための 具体的 手段・方法		長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」について、下地の劣化によってズレや雨漏りが発生している屋根瓦について、更なる被害拡大を防ぐために屋根瓦の葺き替えを行う。 総事業費は1,654千円で、長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金を活用した。事業費は県・市・事業者（所有者）がそれぞれ1/3ずつ負担することとなっており、市が県費補助申請を行い、県および市費を合わせた事業費の2/3（1,102千円）を事業者（所有者）に市補助金として助成することによって事業を実施した。																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	目的 (どのような 状態にしたい のか)	屋根の改修を行い雨漏りなどによって躯体が腐食することを未然に防ぐ。																																																																																																																																																																																																																																																																																				
事業費等の 推移		予算科目	09	款	05	項	06	目	02	大	01	中	01	小	00	細																																																																																																																																																																																																																																																																						
		事業番号		01189																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	年度	平成28年度 (決算)		平成29年度 (予算)		平成30年度 (予算)		平成31年度 (予算)		平成32年度 (予算)																																																																																																																																																																																																																																																																												
	直接事業費	1,102,000																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	国庫支出金																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	県支出金	551,000																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	地方債																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	その他特財																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	一般財源	551,000		0		0		0		0		0		0																																																																																																																																																																																																																																																																								
	人件費	368		0		0		0		0		0		0																																																																																																																																																																																																																																																																								
職員	人	0.06																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	千円	368		0		0		0		0		0		0																																																																																																																																																																																																																																																																								
嘱託	人																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	千円	0		0		0		0		0		0		0																																																																																																																																																																																																																																																																								
事業費合計	1,102,368		0		0		0		0		0		0																																																																																																																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">事業進捗状況・達成度</td> <td rowspan="3">成果指標【KPI】</td> <td colspan="2">名称・内容等</td> <td>単位</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」の屋根改修</td> <td>目標</td> <td>棟</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>棟</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(目標達成度を 図るための 指標)</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>達成率</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】	名称・内容等		単位	28	29	30	31	32	長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」の屋根改修	目標	棟	1						実績	棟	1						達成率	%	100.0						(目標達成度を 図るための 指標)		目標							実績								達成率	%						目標								実績							達成率	%																																																																																																																																																																																																							
事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】	名称・内容等				単位	28	29	30	31	32																																																																																																																																																																																																																																																																											
		長崎県まちづくり景観資産「前田家住宅」の屋根改修	目標			棟	1																																																																																																																																																																																																																																																																															
			実績		棟	1																																																																																																																																																																																																																																																																																
	達成率		%		100.0																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	(目標達成度を 図るための 指標)		目標																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			実績																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			達成率		%																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			目標																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			実績																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			達成率	%																																																																																																																																																																																																																																																																																		

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		判断理由			
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施（見直しは行わない） <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止（隔年実施などへの変更） <input type="radio"/> D 廃止（終期の設定等を含む）	長崎県まちづくり景観資産としての価値の維持・保存を行う上で有効な事業であり、今後も継続する必要があると考える。				
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 民間の行う事業に対する補助事業であるため、行政が実施することは適当である。	A						
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 対象者は景観資産所有者であり目的に合致する。	A						
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 景観資産の価値の維持・保存に最適な事業内容である。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針 事業費30万円以下の事業については補助対象とならず、補助対象事業費の上限が累計600万円までとなっており、それに該当しない場合にどの様に対応するかが課題である。また、所有者が高齢化している場合が多く、今後の維持・管理、継承が上手く行えていけるかが不安要素である。	・総合評価で「見直し・改善を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事業の改善見直しを行うことにより予想される効果も併せて記入願います。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載願います。				
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 現行制度の範囲内では偏りないサービス提供が行えており、事業費の1/3の事業者負担も課している。しかし、補助対象外事業者に対するサービスをどの様に行っていくか	B						
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 十分な事業効果をあげることができた。	A						
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 当初計画した事業を実施し、成果指標を達成することができた。	A	総合判定	意見等				
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 当初の事業目的を達成できている。	A			総合判定	意見等		
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 事業費を県・市・所有者で1/3ずつ負担するものであり、それぞれが単独で負担する場合よりも安価に事業を実施することができている。	A						
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 景観資産助成事業は、県費補助を活用しながら市が行う助成事業であり、補助メニューとしては他に重複するものはない。	A	【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】					
判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算		2.90		① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減				
				③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）				
				現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円

平成 28 年度 施策評価調査

課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	田中聡一
-----	------	-----	------	-------	------

基本事項	施策名	市内遺跡発掘調査事業	整理番号	95022
	根拠法令等	文化財保護法	実施義務	なし
	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～		
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用		
総合戦略区分	①文化遺産の保護と活用			
	【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり			
	②教育のしまプロジェクト			
	(2) 郷土愛の育成			

事業の対象・目的・内容	事業の背景 (課題・市民の要望等)	周知の埋蔵文化財包蔵地において掘削行為を行う際に、必要に応じて埋蔵文化財の確認調査を実施しなくてはならないことは埋蔵文化財保護法に定められている。開発と埋蔵文化財保護とを両立させるために発掘調査業務は必要である。
	対象 (誰に、何に対して)	壱岐市内に所在する遺跡及び出土遺物
	目標達成のための具体的手段・方法	一般市民から雇用希望者を募り、市直営により発掘調査に従事させる。調査は主に屋外での発掘作業(外業)と出土遺物や図面の整理作業(内業)に分かれる。調査成果は報告書として刊行する。出土した遺物は当課にて保管し、展示・研究資料とする。 発掘調査にともなう航空写真撮影や出土遺物の保存処理については業務委託により実施している。
	目的 (どのような状態にしたいのか)	発掘調査によって得られる新たな事実やそれによって明らかにされる壱岐の歴史を通じて、遺跡(文化財)についての関心と理解を深め、文化財保護に努めていくよう導く。また、市民の雇用を図る一方で、発掘成果を島内外に周知させることによって、観光や研究交流にも繋げていく。また、発掘成果やそれに基づいた壱岐の歴史を知ることによって、郷土に対する誇りと愛着が高まる様になりたい。

関連個別事業名	

予算科目	09 款	05 項	06 目	03 大	01 中	02 小	02 細
	事業番号		01193				
年度	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)		
直接事業費	13,374,659	10,240,000					
財源内訳	国庫支出金	5,670,000	5,120,000				
	県支出金	2,811,000	614,000				
	地方債						
	その他特財						
	一般財源	4,893,659	4,506,000	0	0	0	0
人件費	3,675	3,675	0	0	0	0	
職員	人	0.6	0.6				
	千円	3,675	3,675	0	0	0	0
嘱託	人						
	千円	0	0	0	0	0	0
事業費合計	13,378,334	10,243,675	0	0	0		

事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】 (目標達成度を図るための指標)	雇用の創出	名称・内容等	単位	28	29	30	31	32
			目標	人	1,046	1,410			
			実績	人	1,322				
		達成率	%	126.4	0.0				
		発掘調査報告書作成・刊行	目標	冊	1				
			実績	冊	1				
	達成率		%	100.0					
	目標								
	実績								
	達成率	%							

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		判断理由			
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	●A 継続実施（見直しは行わない） ○B1 事業規模の拡充 ○B2 事業規模の縮小 ○B3 事業内容の改善・見直し ○B4 その他の見直し ○C 休止（隔年実施などへの変更） ○D 廃止（終期の設定等を含む）	A		遺跡内における開発行為に伴う発掘調査事案は、今後も継続して発生するものである。また、老岐島の歴史を解明し、その成果を普及・教育することには、老岐市民の郷土に対する誇りや愛着心を高めるとともに、老岐島の魅力発信にもつながるものと考えて、事業の継続は必要である。		
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能	A						
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 事業の対象である埋蔵文化財についての価値は、時代・環境の変化に関係なく不変なものであり、その保護に関する事業は適切なものとする。	A						
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 事業の内容・成果が直接成果目標の達成につながっている。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針	A	埋蔵文化財の保護と次世代への継承を適切に行っていく為に、埋蔵文化財発掘技術や資料の管理、文化財保護の手法などを引き継ぐべき次世代の専門職員を育成することが急務である。			
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 国庫補助金交付要綱および県補助金交付要綱に則して補助事業を実施している。	A						
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 調査方法の改善や新たな分析方法の導入などによって調査精度を向上させることは可能であるが、平成28年度調査に関しては最善を尽くした。	A						
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 報告書の作成・刊行については当初の目標の通り、雇用創出については目標以上に行うことができた（老岐振興局からの調査業務委託を受けた為、雇用が大幅に増加）。	A	意見等	A				
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 発掘調査に応じた成果が得られており、その一部は老岐のPRにも貢献している。	A				【外部評価】	A	総合判定
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 本事業は調査精度を向上させるために絶えず調査方法の見直しを行っていく必要があるが、そのことがコスト削減に直結するものではない。	A						
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 老岐市内においては長崎県も例年発掘調査を行っているが、県は主に原の辻遺跡における発掘調査を行うことから本事業と重複しない。	A						

【2次評価】

【外部評価】

【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】

判定平均点（3点満点）
A=3、B=2、C=1、空白=0として換算

3.00

① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減				
③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）				
現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円

平成 28 年度 施策評価調書

課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	河合雄吉
-----	------	-----	------	-------	------

基本事項	施策名	指定文化財保護管理費補助金	整理番号	95014
	根拠法令等		実施義務	なし
	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～		
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用		
総合戦略区分	①文化遺産の保護と活用			
	【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり			
	②教育のしまプロジェクト			
	(2) 郷土愛の育成			

事業の背景 (課題・市民の要望等)	壱岐市内には指定文化財が212件(国11・県31件・市172件)ある。これらの貴重な文化財は先人たちの努力により今日まで受け継がれてきた市民共通の財産であり、未来につないでいく必要がある。			
	個人及び法人等が所有する(国・県・市)指定の文化財(158件)			

対象 (誰に、何に対して)	文化財を適切に管理していくために必要な経費の一部助成を行う。指定文化財1件当たり4,300円を交付する。
------------------	--

事業の対象・目的・内容	目標達成のための具体的手段・方法	文化財を適切に管理していくために必要な経費の一部助成を行う。指定文化財1件当たり4,300円を交付する。
	目的 (どのような状態にしたいのか)	今日まで受け継がれた歴史的文化遺産を市民共通の財産として未来につなぐため、適切な保存管理を行っていく。さらに、可能な限り一般に公開することで、地域の歴史や文化を多くの人々と共有し、その重要性を広く伝える。

関連個別事業名	

事業費等の推移	予算科目	09 款	05 項	06 目	02 大	01 中	01 小	19 細	
	事業番号								
	年度	平成28年度 (予算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)			
財源内訳	直接事業費	708							
	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他特財								
	一般財源	708	0	0	0	0	0		
	人件費	0	0	0	0	0	0		
	職員	人							
		千円	0	0	0	0	0	0	
	嘱託	人							
千円		0	0	0	0	0	0		
	事業費合計	708	0	0	0	0	0		

事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】	名称・内容等		単位	28	29	30	31	32
		指定文化財補助金交付件数	目標	件	158				
			実績	件	154				
		達成率	%	97.5					
	(目標達成度を図るための指標)	目標							
		実績							
		達成率	%						
		目標							
	実績								
	達成率	%							

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		補助金額の見直しを行う必要があるため。	
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	評価結果	<input type="radio"/> A 継続実施（見直しは行わない） <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止（隔年実施などへの変更） <input type="radio"/> D 廃止（終期の設定等を含む）	判断理由	
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能	A				
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 補助金の額は一律としており、さらに年々減額となっているが、個々の文化財ごとに維持管理の方法や、費用も異なるため、今後見直しが必要である。	B				
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 貴重な文化財を保護するための負担を軽減することで、所有者（管理者）の文化財保護に対する理解を得ることができる。	B	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針	指定された文化財は、種類や所在地、管理場所等様々な条件により管理費は異なるため、補助金の額については見直しを行うべきである。		
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 文化財管理費はそれぞれの文化財で異なるが、一律支給では所有者の負担に差がある。	C				
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 実際に係る費用等を調査し助成額を見直す必要がある。	B				
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 支給できなかった物件がある。（補助金の辞退届が2件、管理者不明1件、所在未確認1件）	B	意見等			
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 現段階の補助金は、文化財保護管理のための最低限度支援である。	B	【外部評価】	総合判定		
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 補助金交付事務であり、これ以上の事務効率化はできない。	A	意見等			
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 類似重複はない。	A				
		判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算		2.30	【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】		
				①	<input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	②	<input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減
				③	<input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④	<input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）
				現年予算	千円	次年度予算	千円 増減 千円

平成 28 年度 施策評価調書

課名： 文化財課 班名： 文化財班 担当者名： 田中聡一

基本事項	施策名	重要文化財保存処理事業	整理番号	95016	関連個別事業名																	
	根拠法令等	文化財保護法	実施義務	なし																		
	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～																				
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用																				
総合戦略区分	①文化遺産の保護と活用																					
	【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり																					
	②教育のしまプロジェクト																					
		(2) 郷土愛の育成																				
事業の対象・目的・内容	事業の背景 (課題・市民の要望等)	壱岐島を代表する歴史資料である重要文化財を恒久的に保存し、公開・活用することが望まれている。				事業費等の推移	予算科目	09	款	05	項	06	目	04	大	01	中	02	小	00	細	
	対象 (誰に、何に対して)	国指定重要文化財「長崎県原の辻遺跡出土品」					事業番号	01195														
	目標達成のための 具体的 手段・方法	専門業者への業務委託により保存修理を行う。平成28年度については原の辻遺跡出土品について保存修理を実施した。	年度	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)		平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)													
			直接事業費	4,219,466	3,780,000																	
			国庫支出金	2,736,000	2,457,000																	
			県支出金	265,000	158,000																	
			地方債																			
			その他特財																			
			一般財源	1,218,466	1,165,000		0	0	0													
			人件費	368	368		0	0	0													
職員	人	0.06	0.06																			
	千円	368	368	0	0	0																
嘱託	人																					
	千円	0	0	0	0	0																
事業費合計	4,219,834	3,780,368	0	0	0																	
目的 (どのような状態にしたいのか)	保存処理と保管台の製作を行うことによって、重要文化財を恒久的に保存かつ安全に保管し、活用が行えるようにする。保存修理後の資料については一支国博物館内にて保管するとともに、壱岐市の貴重な展示・学術資料として必要に応じて公開活用する。	成果指標【KPI】 (目標達成度を図るための指標)	名称・内容等	単位	28	29	30	31	32													
					目標	点	43	40														
			保存処理	実績	点	44																
				達成率	%	102.3	0.0															
			保管台製作	目標	点	0																
				実績	点	1																
			達成率	%	#DIV/0!																	
			目標																			
実績																						
達成率	%																					

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		判断理由
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている 国指定重要文化財の展示公開は、博物館展示における目玉となるものであり、それらを展示することは市民のニーズにも応えることとなる。	判定 A	●A 継続実施（見直しは行わない） ○B1 事業規模の拡充 ○B2 事業規模の縮小 ○B3 事業内容の改善・見直し ○B4 その他の見直し ○C 休止（隔年実施などへの変更） ○D 廃止（終期の設定等を含む）	国重要文化財を保存・管理することは文化財保護法において所有者に課せられた義務である。従って、本事業は保存修理が必要な国重要文化財が存在する限りにおいて継続実施すべきものである。	
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 現在保存修理を進めている重要文化財の所有者が老崎市であるため、所有者が実施することとなる。	A			
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 重要文化財についての保存修理であり適切。	A			
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針 資料の保存修理（保存処理）を行うことによって、理論的には恒久的な保存ができる状態となったことになる。しかし、完全に腐植の原因物質を除去できたわけではなく、定期的な状態確認が必要である。また、状態異常が発生した場合には、あらためて保存修理を行うこととなる。		
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 国庫補助金交付要綱および県補助金交付要綱に則して補助事業を実施している。	A			
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 現時点で最良と思われる修理方法を、文化庁文化財調査官とも相談しながら実施している。	A			
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 当初予定していたよりも多くの資料について保存修理を実施することができた。	A	総合判定 意見等		
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要	A			
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 入札によって業務委託先業者を選定することにより、費用の削減は行えている。	A			
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 市内遺跡発掘調査事業においても出土遺物保存処理を行っているが、そちらは国指定重要文化財以外の資料に限られており、重複するものではない。	A			

【2次評価】

【外部評価】

【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】

判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算		3.00	
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）
現年予算	千円	次年度予算	千円
		増減	千円

平成 28 年度 施策評価調査

課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	田中聡一
-----	------	-----	------	-------	------

基本事項	施策名	文化財調査事業	整理番号	95013
	根拠法令等	文化財保護法	実施義務	なし
	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～		
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用		
総合戦略区分	①文化遺産の保護と活用			
	【4】 壱岐の将来を担う子どもたちを育むまちづくり			
	②教育のしまプロジェクト			
	(2) 郷土愛の育成			

事業の対象・目的・内容	事業の背景 (課題・市民の要望等)	発掘調査報告書が刊行されている遺跡の発掘成果について未整理の資料があり十分に活用できていない。
	対象 (誰に、何に対して)	壱岐市内遺跡出土遺物および発掘調査記録類
	目標達成のための具体的手段・方法	過去の市内遺跡発掘調査記録や出土遺物の再整理を実施するために、一般市民から雇用希望者を募って資料整理作業に従事させる。発掘調査結果や遺物の展示公開、出前講座の実施など、その成果を今後の調査・研究や教育・普及活動に活かせるようにして島内外に周知することによって、観光や研究交流にも繋げていく。
	目的 (どのような状態にしたいのか)	過去の発掘調査によって得られた資料のうち、十分に整理が行き届いていない資料について再整理を行い、活用できるようにする。また、その間の資料再整理成果を基に企画展示会を開催する。

関連個別事業名	

事業費等の推移	財源内訳	予算科目	09 款	05 項	06 目	03 大	01 中	03 小	00 細
		事業番号	01194						
		年度	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)		
		直接事業費	2,956,078	2,770,000					
		国庫支出金	1,446,000	1,385,000					
		県支出金	260,000	166,000					
		地方債							
		その他特財							
		一般財源	1,250,078	1,219,000	0	0	0		
		人件費	1,225	1,225	0	0	0		
		職員	人	0.2	0.2				
			千円	1,225	1,225	0	0	0	
		嘱託	人						
			千円	0	0	0	0	0	
		事業費合計	2,957,303	2,771,225	0	0	0		

事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】 (目標達成度を図るための指標)	雇用の創出	名称・内容等	単位	28	29	30	31	32
			目標	人	476	452			
		実績	人	492					
		達成率	%	103.4	0.0				
		再整理遺跡数	目標	遺跡	1	3			
			実績	遺跡	1				
		達成率	%	100.0	0.0				
		企画展示	目標	回				1	
実績	回								
達成率	%					0.0			

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		判断理由
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	●A 継続実施（見直しは行わない） ○B1 事業規模の拡充 ○B2 事業規模の縮小 ○B3 事業内容の改善・見直し ○B4 その他の見直し ○C 休止（隔年実施などへの変更） ○D 廃止（終期の設定等を含む）	判断理由	
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 作業員雇用に際しては市民から広く公募し、市が直接雇用する点において民間が実施するよりも費用を低く抑えることができる。	A			
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 出土資料や調査成果の再整理作業は、資料の公開・活用や企画展の開催という目的達成につながるものである。また、文化財に対する関心は高まっており、その変化にも適	A			
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 事業の実施実績が成果指標に直結している。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針	A	
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 国庫補助金交付要綱および県補助金交付要綱に則して補助事業を実施している。	A			
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 資料再整理の方法や手順について改善の余地はあるかもしれないが、現時点でその必要性は認められない。	A			
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 予定通りの雇用を行い、資料再整理を実施できた。	A	総合判定	意見等	
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 事業実施内容に見合った成果は得られている。	A			総合判定
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 資料再整理の方法や手順について改善の余地はあるが、それがコストの削減に直結するものではない。	A			
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 市内遺跡発掘調査事業と内容的に一部類似はするものの重複はしていない。また、壱岐市が保管する資料について行う事業であり、国・県施策と重複することは無い。	A			
判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算				3.00		
【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】						
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）		② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減		③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加		④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）
現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円	

平成 28 年度 施策評価調査

課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	河合 雄吉
-----	------	-----	------	-------	-------

基本事項	施策名	市内文化財歴史文化基本構想策定業務	整理番号	95028
	根拠法令等		実施義務	
	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～		
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用		
総合戦略区分	①文化遺産の保護と活用			
	【2】 宍岐の魅力発信し、人が集まるまちづくり			
	①観光振興プロジェクト			
	(6) 受入基盤・体制の整備・充実 (ソフト事業)			

関連個別事業名																				

事業の対象・目的・内容	事業の背景 (課題・市民の要望等)	本市においては、国特別史跡原の辻遺跡をはじめ、また日本遺産登録など多くの貴重な文化財遺産が残されているが、その保存活用の在り方については共通化したものがないことから、宍岐市として共通認識を持つことが求められる。
	対象 (誰に、何に対して)	市内すべての文化財
	目標達成のための具体的手段・方法	宍岐市内にある文化財についての的確な把握と、その周辺環境まで含めた保存活用に関する構想を策定する。 H28：『(仮) 宍岐市の文化財』誌の作成及び、島内文化財悉皆調査 H29：前年度の調査整理、宍岐市歴史文化基本構想策定委員会の開催 H30：宍岐市歴史文化基本構想策定委員会の開催、『宍岐市歴史文化基本構想』報告書作成
	目的 (どのような状態にしたいのか)	一体化した適切な保存管理・活用についての方針をまとめる

事業費等の推移	予算科目	09 款	05 項	06 目	02 大	01 中	03 小	00 細	
		事業番号	01191	文化財基本構想策定事業費					
	年度	平成28年度 (予算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)			
	直接事業費	4,352	9,449						
	国庫支出金	1,455	5,248						
	県支出金								
	地方債								
	その他特財								
	一般財源	2,897	4,201	0	0	0			
	人件費	1,225	3,063	0	0	0			
職員	人	0	1						
	千円	1,225	3,063	0	0	0			
嘱託	人								
	千円	0	0	0	0	0			
事業費合計	5,577	12,512	0	0	0				

事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】	『宍岐市の文化財』誌作成	名称・内容等	単位	28	29	30	31	32
			目標	式	1				
	実績	式	1						
	達成率	%	100.0						
	(目標達成度を図るための指標)	指定文化財把握及び整理	目標	件	212				
			実績	件	212				
	達成率	%	100.0						
	目標								
実績									
達成率	%								

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		判断理由					
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	●A 継続実施（見直しは行わない） ○B1 事業規模の拡充 ○B2 事業規模の縮小 ○B3 事業内容の改善・見直し ○B4 その他の見直し ○C 休止（隔年実施などへの変更） ○D 廃止（終期の設定等を含む）	事業については滞りなく行われている。	判断理由					
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 市が行うことは国庫補助対象の要件でもあり、また老岐市の文化財全体（個人情報含む）を検討するため、民間実施は適当ではない。	A								
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 文化財は保護から活用へとウエイトが移っているため、時代の変化に対してきわめて適しているといえる	A								
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 最適な事業といえる。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針	本事業は引き続き実施する。	判断理由					
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 いずれも改善の余地はない。	A								
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 現時点では最大限の効果を上げているといえる。	A								
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 計画通り実施した。	A	意見等		判断理由					
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 結果についての成果に問題はない。	A					【外部評価】 総合判定	意見等	判断理由	
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 現行が最適と考える。	A								
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 類似した事業はない。	A								
		判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算		3.00		【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】 ① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し） ② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減 ③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加 ④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）					
				現年予算 千円 次年度予算 千円 増減 千円							

平成 28 年度 施策評価調書

課名：	文化財課	班名：	文化財班	担当者名：	河合 雄吉
-----	------	-----	------	-------	-------

基本事項	施策名	「発掘された日本列島2017」展	整理番号	95029
	根拠法令等		実施義務	
	総合計画区分	(4) 心豊かな人が育つまちづくり～教育・文化・スポーツ～		
		< 5 > 歴史的文化遺産の保護と活用		
総合戦略区分	【2】 沓岐の魅力を発信し、人が集まるまちづくり			
	①観光振興プロジェクト			

関連個別事業名	

事業の背景 (課題・市民の要望等)	本市においては国特別史跡原の辻遺跡をはじめ、また日本遺産登録など多くの貴重な文化財遺産が残されており、周知等に努めているが、一方では日本全体として広い目を見た場合、全国遺跡出土遺物等に触れる機会がない。そのため文化庁主催の「発掘された日本列島」展を利用し、沓岐市民に日本各地で発掘された遺物等を見る機会を作ると同時に、当該からの集客につなげる必要がある。
	対象 (誰に、何に対して)

事業費等の推移	予算科目	09 款	05 項	06 目	02 大	01 中	01 小	00 細	
		事業番号		01189	文化財保護費				
財源内訳	年度	平成28年度 (予算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)	平成32年度 (予算)			
	直接事業費	185	5,031						
	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他特財								
	一般財源	185	5,031	0	0	0			
	人件費	613	1,838	0	0	0			
	職員	人	0	0					
		千円	613	1,838	0	0	0		
嘱託	人								
	千円	0	0	0	0	0			
事業費合計	798	6,869	0	0	0				

事業の対象・目的・内容	目標達成のための具体的手段・方法	平成29年は、原の辻遺跡が国指定史跡となって20周年を迎える。その記念も併せ、一支国博物館で本展示会を開催することにより沓岐市のアピールを行っていく。 H28：開催地事例調査、文化庁協議 H29：展示会開催 ※本事業は、文化庁が主催で毎年行っている「発掘された日本列島」展に乗じたものである。展示資料は日本各地から出土した大きな話題性を持つものばかりである。全国開催であることから「沓岐市」の大きなアピールにつながる。
	目的 (どのような状態にしたいのか)	・市民 …広く日本全体の遺物に触れ、改めて沓岐市の文化財の価値について考える。 ・島外者…本展示会を通じて沓岐のアピールを行う。

事業進捗状況・達成度	成果指標【KPI】 (目標達成度を図るための指標)	事例調査	名称・内容等	単位	28	29	30	31	32
			目標	回	1				
			実績	回	1				
		達成率	%	100.0					
		文化庁協議	目標	回	1				
			実績	回	1				
	達成率		%	100.0					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）		判断理由			
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている 全国的にも話題となった展示物は、それだけで集客を見込むことができる。また、生涯学習及び学校教育の一環として極めて効果的な事業であるといえる。	判定 A	評価結果 ●A 継続実施（見直しは行わない） ○B1 事業規模の拡充 ○B2 事業規模の縮小 ○B3 事業内容の改善・見直し ○B4 その他の見直し ○C 休止（隔年実施などへの変更） ○D 廃止（終期の設定等を含む）	事業については滞りなく行われている。	判断理由			
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 日本各地の展示物を実際に見ることは学校教育や生涯教育上必要なことであり、民間実施は難しい。	A						
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 島外からの集客を狙うには有効な事業の一つであるといえる。また民間とのサービスは重複しない。	A						
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 現時点においては最適と考える。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針	本事業は引き続き実施する。	判断理由			
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 サービスの提供結果については次年度に現れるが、現時点においては適切と考える。	A						
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 現時点においては最適と考える。	A						
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 計画通りに実施することができた。	A	意見等					
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 現時点では問題はない。	A	【外部評価】	総合判定				
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある これ以上の費用削減は難しい。	A	意見等					
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 類似した事業はない。	A						
		判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算	3.00	【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】					
				① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）	② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減				
				③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）				
				現年予算	千円	次年度予算	千円	増減	千円